

沖縄プロ野球キャンプ見学をもっと身近に楽しく快適に

## プロ野球キャンプ訪問観光促進事業をスタート

沖縄県文化観光スポーツ部スポーツ振興課

沖縄県(県知事 仲井眞弘多)では、プロ野球春季キャンプの受入態勢の整備および各種プロモーションの強化をはかることで、さらなる観光誘客の拡大を目指す「プロ野球キャンプ訪問観光促進事業」を今年度実施します。

沖縄県にとって、スポーツ・ツーリズムは重要な観光領域であり、新規観光客の創出、リピーター化、観光収入の増大、雇用創出等における起爆剤として期待されています。中でも沖縄の春季プロ野球キャンプは 1979 年に日本ハムファイターズ投手陣が初めて沖縄キャンプを実施して以降、年を追って拡大。2012 年に引き続き、今春も過去最多タイとなる 15 球団(国内 9 球団、韓国 6 球団)を迎えるなど、沖縄におけるスポーツ・ツーリズムのさきがけとしての役割が期待されています。

今年度展開する事業では、1) 新規観光誘客に向けたプロモーション強化、2) 交通手段の利便性向上、キャンプ情報提供などのインフラ整備、3) キャンプ地での経済波及効果につながる訪問観光メニューづくりという 3 つの視点から、ファンおよび旅行者のキャンプ地受入態勢の整備と各種プロモーションを強化。キャンプ受入市町村協力会・友の会をサポートしていくことで、さらなる観光誘客の拡大につなげる考えです。

具体的な取り組み施策としては、本島主要キャンプ地を巡回する専用シャトルバス「プロ野球キャンプバス」を平日 6 便、休日 7 便運行し、見学の「足」をサポート。

また各キャンプ地に配置した番記者やバス添乗員が当日のスケジュールやバス運行情報を「プロ野球キャンプ情報ポータルサイト」に随時レポート、ストレスなくキャンプ地に向かえるようになります。沖縄の玄関口・那覇市内のホテルには、各地のキャンプ情報や侍ジャパニユニフォームの特別展示など、野球の旬なニュースが盛りだくさんの情報発信基地「ベースボールホテル」も登場します。

さらにプロ野球ファンや旅行者の訪問意欲を高め、キャンプ地での経済波及効果につながる観光メニューとして、沖縄食材を使った手軽なグルメ「Okinawan カップグルメ」やキャンプ地周辺のお得情報をキャッチできるスマホアプリ「ロケッコ®」、周辺の観光散策を促す「旅チャリ」なども受入市町村との連携により導入がスタート。沖縄でのキャンプ見学をもっと身近で楽しく快適にしていきます。

上記施策の検証を通じて、次年度以降の戦略を描いていき、将来の沖縄の野球によるブランディングや「スポーツアイランド沖縄」の戦略事業として定着していくことを目指します。

事業の詳細は次ページ以降をご参照ください。

### 【問合せ先】

プロ野球キャンプ訪問観光促進事業 事務局(担当:片瀬 永見)

TEL: 098-860-5133 FAX: 098-861-1308

沖縄県文化観光スポーツ部スポーツ振興課(担当:知念、銘莉)

TEL: 098-866-2708 FAX: 098-866-2729

## 事業趣旨

沖縄県にとって、スポーツ・ツーリズムは重要な観光領域であり、新規観光客の創出、リピーター化、観光収入の増大、雇用創出等における起爆剤として期待されています。

なかでも、スポーツ・ツーリズムのさきがけとしてプロ野球キャンプをモデルとした展開が期待されていることから、国(観光庁)が主導する「スポーツ・ツーリズム推進基本方針」および沖縄県がこれまで実施している各種関連事業と連携し、特にプロ野球キャンプに特化した、観光需要の喚起をはかる施策展開を行い、その効果について検証を行います。

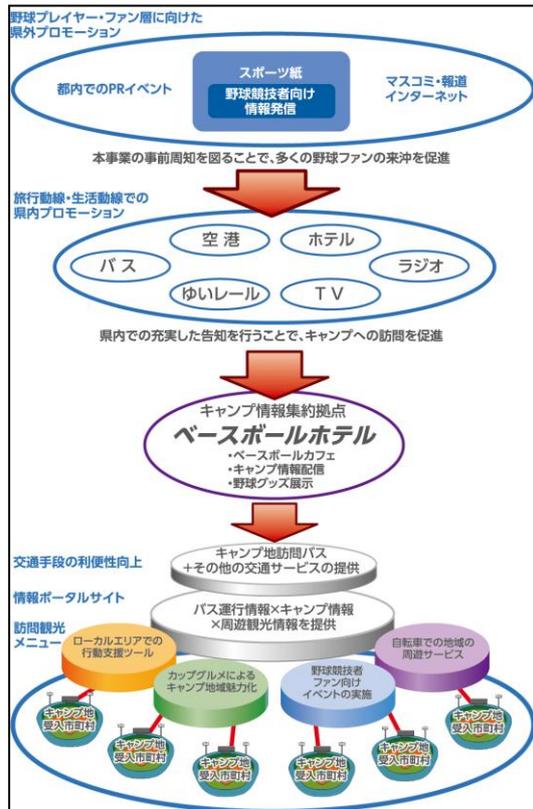
## 事業ロゴマーク



<制作意図>

野球の象徴である、ボールとバットの組合せに南国の島国のモチーフとして、ハイビスカスと波を組み合わせました。波のウェーブは情熱を表しています。

## 事業フレーム



プロ野球ファンならびに旅行者の沖縄への誘客策と、地域におけるプロ野球キャンプインフラ整備をトータルで展開します。

- 1)最大のターゲットであるプロ野球ファンや野球競技者に向けた情報発信を強化。
- 2)キャンプ情報の集約拠点として「ベースボールホテル」を構築。

沖縄の玄関口・那覇空港と那覇市内を情報発信のハブとして機能させ、情報ポータルサイトや各地への交通手段などのインフラへ誘引することで、各キャンプ地に観光客を送り込みます。

- 3)プロ野球ファンや旅行者の訪問意欲を高める観光メニューづくり

キャンプ受入地域と連携をはかることで、地域の魅力化をはかります。

- 4)効果検証

取組み効果を可視化し、次年度以降の戦略を描き、将来の沖縄の野球によるブランディングや「スポーツアイランド沖縄」の戦略事業として定着させていくことを目指します。

< 主な事業内容 >

1)-1 新規観光誘客に向けたプロモーション強化【県外】

野球愛好者向けタッチポイントへの情報発信

キャンプ期間中の報道機会の多さに比べると、事前の県外での周知が少ない現状をふまえ、「沖縄ナイト」での記者発表、スポーツ新聞広告掲載など県外へのアピール機会を活用して、事前の周知を強化します。

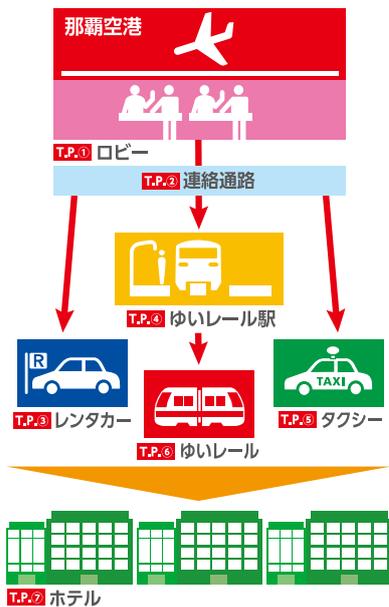
加えて「球団のコアファン」のみならず、草野球プレイヤーも含めた「野球愛好者」へのアプローチを強化するために、「草野球オンライン」(日本有数の草野球ポータルサイト)、「バッセン」(全国のバッティングセンターで発行されているフリーペーパー)など専門メディアを活用した告知をはかっていきます。



1)-2 新規観光誘客に向けたプロモーション強化【県内】

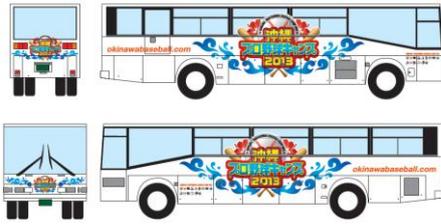
旅行者動線でのきめ細かい情報発信

沖縄を訪れる人々に対しては、那覇空港からホテルまでの動線できめ細かく告知を行います。特に沖縄の玄関口である那覇空港の到着ロビー出入口には2基の大型ウェルカムボードが登場。キャンプ訪問客だけでなく、一般の沖縄観光客に対してもキャンプ地への誘引をはかります。



【ウェルカムボードデザイン案】

## 2)-1 交通手段インフラ整備:1日1000円で乗り放題 プロ野球キャンプバスの運行



キャンプ期間の2月中、本島の国内球団1軍キャンプ地を中心に巡回するシャトルバスが平日6台、休日1便増便の計7台で運行、キャンプ見学者の「足」のサポートを行います。

### 【運行ルート】

需要の多い北部ルート「那覇～名護・宜野座間」に急行便(1~3号車)も走らせ、時間短縮をはかるほか、「那覇～北谷間」中南部ルート(6~7号車)は運行回数を確保し、気軽に乗れる環境を作ります。また「北谷」を接続拠点として、西海岸エリアホテルや、韓国球団キャンプ地も結ぶルート(4~5号車)も設定されています。

1号車	那覇 BT、沖縄セルラースタジアム那覇(巨人)、おもろまち、北谷(中日)、名護(日本ハム)、宜野座(阪神)
2号車	那覇 BT、沖縄セルラースタジアム那覇(巨人)、おもろまち、名護(日本ハム)、宜野座(阪神)
3号車	那覇 BT、沖縄セルラースタジアム那覇(巨人)、おもろまち、北谷(中日)、宜野座(阪神)、名護(日本ハム)
4号車	北谷(中日)、伊良皆、ルネッサンスリゾート、ONNA 赤間パーク(サムスン)※⇄プセナリゾート前⇄宜野座(阪神)、名護(日本ハム)、具志川 BT(SKワイバーンズ)※、石川(LG ツインズ)、東山駐車場
5号車	名護(日本ハム)、プセナリゾート前、ONNA 赤間パーク(サムスン)※、ルネッサンスリゾート、伊良皆、北谷(中日)、宜野湾(DeNA 横浜)、浦添(東京ヤクルト)、おもろまち、沖縄セルラースタジアム那覇(巨人)、那覇 BT
6号車	那覇 BT、沖縄セルラースタジアム那覇(巨人)、おもろまち、浦添(東京ヤクルト)、宜野湾(DeNA 横浜)、北谷(中日)、具志川 BT→具志川 BT(SKワイバーンズ)※、石川(LG ツインズ)、東山駐車場、
7号車(土日祝のみ走行)	那覇 BT、沖縄セルラースタジアム那覇(巨人)、おもろまち、浦添(東京ヤクルト)、宜野湾(DeNA 横浜)、北谷(中日)

### 【タイムスケジュール】

キャンプ見学者の利便性を考慮し、練習開始(10:00)、終了(15:00)時間や試合開始時間(13:00)前後にあわせたタイムスケジュールを設定しました。

### 【利用料金】

1日フリー乗車券 大人(中学生以上)1000円、小人(小学生)500円

### 【乗車券発売場所】

空港那覇バスカウンター バス営業所 JTB カウンター 全国のコンビニ(ファミリーマート・ローソン・サークルKサンクス) キャンプ地案内ブース プロ野球キャンプバス車内 ベースボールホテル

## 2)-2 インフラ整備:キャンプ来訪者への情報提供

### キャンプの最新情報をリアルタイムで提供 プロ野球キャンプ情報ポータルサイト運営



各キャンプ地に常駐する番記者がリアルタイムでキャンプの最新情報をレポート。オープン戦や紅白戦の試合状況やこれまで現地ではしか確認できなかったその日の練習スケジュールなどの情報も知ることができるなど、キャンプ観戦の強い味方となるツールです。また、ソーシャルメディアからの投稿もリアルタイムで反映されます。

さらにプロ野球キャンプバスのルート・時刻表・運行状況・乗車券購入方法やロケッコの使い方なども調べることができます。

一つのウェブサイトで、パソコンやタブレット、スマホ、ケータイなど表示サイズの異なるデバイスの大きさにあわせて、表示が可能です。またクロスランゲージというアプリケーションを活用して自動翻訳を行い、最新の内容を翻訳表示することができます。

国内球団1軍のキャンプ地には、案内ブースを設置。キャンプ地の最新情報をスタッフを通じて提供します。

## 2)-3 キャンプ地巡りの情報発信基地 ベースボールホテル



沖縄の玄関口・那覇市にある「沖縄ポートホテル」(那覇バスターミナル、モノレール旭橋駅から徒歩約5分)内に、キャンプ情報のすべてが集まる情報発信基地として、キャンプ期間中限定オープンします。

各球団の日程や当日スケジュールの紹介のほか、各種イベント、各キャンプ地へのアクセスなどキャンプ地巡りに欠かせない情報を提供する「インフォメーションセンターゾーン」にはスタッフが常駐。

さらに、ミズノ株式会社の協力により、野球日本代表・侍ジャパンの公式ユニフォームや関連グッズが特別展示される「侍ジャパンゾーン」「展示ゾーン」、スタジオ機能を持つ「ミニスタジオゾーン」、野球関連映像が流れる大型スクリーンをみながら、くつろげる「ベースボールカフェゾーン」で構成されています。あこがれのユニフォームを着て、記念撮影も可能なほか、グラブ製作やバット製作実演などのイベントも予定されています。

### 3)-1 訪問観光メニュー キャンプ観戦に最適のお手軽グルメ

#### 「プロ野球キャンプ de OKINAWAN カップグルメ」

移動型観光がメインの沖縄で、クルマのドリンクホルダーにも収まる手軽なカップサイズの容器で、県産食材を活用したご当地メニューを提供する新しい沖縄の携帯食スタイルです。キャンプ地訪問時の移動にもキャンプ地でも手軽に楽しめます。1 チケット 1 商品が交換できるお得な 1,000 円チケット(3 枚綴り)も販売します。

「たくさんの種類の沖縄食材を食べたい」「運転中でも手軽に食べたい」  
観光客のニーズにマッチした「カップグルメ」が新たな沖縄の食のスタイルを創造します。

**新** 沖縄ご当地グルメ **OKINAWANカップグルメ**

観光客が求めるお手軽沖縄料理！  
平均滞在数：2.7泊  
摂食回数：5～9回程度  
タコライス サターアンドン コーヤチンフルー

会々と食べてみたいけど、食事の回数は決まっている…

**だからコレ！**

レンタカー観光にぴったりのカップ料理！  
利用交通機関：レンタカー 53.8%  
車内のドリンクホルダーにもぴったり！

あっちもこっちも行ってみたい！だから換の時間は無駄にできない…

＜キャンプ＞  
バイクとドラゴンフルーツのスムージー

気分にテイクアウト島の味  
**OKINAWAN**  
カップグルメ

### 3)-2 訪問観光メニュー キャンプ地周辺での行動支援ツール

#### 「ロケッコ®」サービス

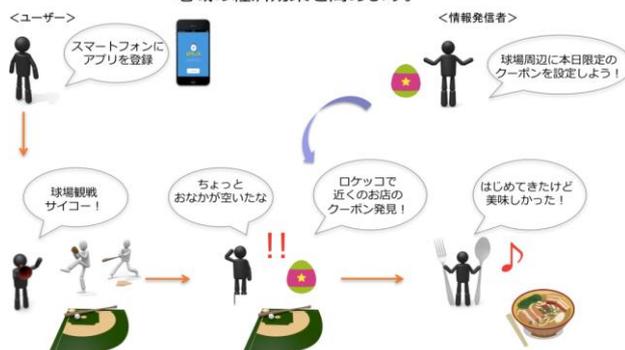
スマートフォンの GPS 情報を利用して、地図上の任意の場所に情報を設置することができる位置情報プラットフォームサービスです。現地に行かないと取得ができないため、今いる「場所」から行動を促すことが可能で、その情報は友人へも渡すことができます。また情報提供側は期間・日時・情報提供回数などを自由にコントロールできるので、お店のオペレーションに負荷をかけずに運用できることが特徴です。

今回の事業では、主要球団のキャンプ地球場を中心に、来場者へのファンサービス、球場周辺の飲食店や観光スポット情報の提供など現地ならではの行動支援を行う予定です。

※「ロケッコ®」は株式会社ロケッコ(本社:神奈川県藤沢市、代表取締役社長:川村行治)の登録商標です。



球場周辺の観光情報やお店のクーポンなどを、宝探しやオリエンテーリングのように楽しみながら周辺散策をし、地域の経済効果を高めます。



### 3) -3 キャンプ地周辺の観光散策を促す二次交通「旅チャリ」

JTB が観光振興、環境配慮、健康良化を目的として全国にリースしている電動アシスト付き自転車「旅チャリ」を活用。キャンプ地訪問中のちょっとした空き時間に、球場周辺の観光施設や飲食店めぐりを後押しする仕組みを作ります。

本事業では、キャンプ期間中那覇(沖縄セルラースタジアム那覇)、名護(名護市営球場)に各5台の旅チャリを設置します。

